

2017年10月20日 金曜日

自尊心の育て方

午前中は庭園内で落葉掃除。エンジンブロアを使って、芝生を中心に綺麗きれいにしました。ところが、午後にはもう落葉でいっぱいでした。無駄な労働となったかといえば、そうでもなく、一時でも綺麗になれば気持ちは良いものです。掃除というのは、基本的にこの理屈ですね。子供のときには、大人が家の周囲の掃除をするのを不思議に感じていました。あと、植物の手入れをするのも無駄なことだな、と思って見ていましたね。そのほか、大人が「景色が綺麗だ」「花が綺麗だ」「空が綺麗だ」とやたら自然を褒めるのも、意味がわかりませんでした。子供というのは、そういう疑問を持つわけで、これが素直という意味です。

今日読んでいた本に、自尊心とナルシズムの違いが書いてありました。両者はまったく別のものであり、心理学的・生理学的にも区別ができるのですが、大人が子供に対して、自尊心を持たせようと教育するとき、その教育のし方が間違っているため、自尊心のある人間に育たず、ナルシストになってしまい、人に迷惑をかける人間になりがちだし、あるときは犯罪者になる、というような内容でした。僕も常々感じるところです。

子供を褒めることは、自尊心を育てるために有効だといわれていますが、言葉で褒めると駄目なのではないか、と僕は思います。言葉で褒めれば、そういった（上辺だけの）言葉に価値があると考えてしまうからです。また、言葉で褒めると、えてして人との比較になります。「成績が良い」「運動ができる」「君が一番だ」と言えば、これは他者との比較を示しているわけで、結果として他者を蔑さげすむ人間に育ってしまう可能性があります。

では、言葉にしないで褒めるとはどういうことか。それは、ご褒美ほうびを上げるという意味ではありません。ご褒美は基本的に言葉と同じもので、（上辺の）記号でしかありません。貧富の格差が示すとおり、やはり他者との比較になりやすい。また、過去のご褒美との比較にもなります。これでは、本当の自尊心は育ちません。

僕は、なにもしないで見守ること、大人が自分の生き方を見せることだと考えていましたが、その本の著者は、愛情を注ぐことだ、子供を信頼

することだ、と書いていました。これは、言うほど簡単ではありませんが、このとおりの正論です。

言葉やご褒美などの簡単な信号ではなく、もっと時間も労力もかかる面倒なことをあえてして、子供に与える、ということです。それは「世話」であり「保護」でもあるでしょう。そういった待遇で、子供は自分が大切にされている、という大人の「本気」を感じるのです。自尊心とは、このような環境が育てるものだ、ということのようです。

日本ではあまり、この「子供の自尊心を育てよう」、という言葉を目にしません。欧米では非常に一般的です。自尊心がなければ、他者に対しても優しくなれない、人から信頼されない、という考えが根強いからです。「自分に誇りを持ちなさい」と子供に教えたいのですが、「誇りを持ちなさい」と言葉にして伝わるものではありません。難しい課題です。

もう書いても良い頃だと思えます。執筆中のWシリーズ第9作は『天空の矢はどこへ?』というタイトルです。今日は1万文字書いて、合計2万文字になりました。完成度は17%。

各社から届く支払明細をエクセルに入力する作業もしました。といっても、10分くらいのことです。エクセルを動かしているパソコンがもの凄く古いので、壊れたらどうしようかと心配です。そのときのために、バックアップは取りますが、エクセルではなく、Macに付属のNumbersに乗り換えなくてはいけなくなるでしょう。それがちょっと憂鬱^{ゆううつ}。なんとか、僕の作家生命よりそのパソコンには長生きしてもらいたいものです。

ナンバといえば、マイナンバですが、あれを「個人ナンバ」という名称にしなかったのは困った問題だ、と以前に別のブログで書きました。そうじゃないと、「あなたのマイナンバを教えてください」と言わなくてはいけない事態になります。日本人ならば良いかもしれませんが、日本人だからといって日本語が話せる人ばかりではありません。英語にしたら通じませんよ、という話です。これと同じ類のものに、「マイペース」という日本語があります。「あの人はマイペースだ」と言いますね。英語にしてみました。今、Googleで翻訳させたら、「He is my pace.」でした（驚）。今度は、これを日本語に訳させたら、「彼は私のペースだ」となりました。こちらは合っています。own paceなら、通じると思います。

それで、何が言いたいのかというと、自尊心というのは、own pace なのです。ナルシズムは my pace で、しかも最初が大文字のMになっていたりします。このレトリックは難しいですか？



「マイホーム」も英語で使ってはいけません。全然通じませんよ。

イラスト/コジマケン